



## 平成24年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月11日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社ウイズ

コード番号 7835 URL <http://www.wizinc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 横井昭裕

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長

(氏名) 大関浩一

TEL 03-3663-7677

四半期報告書提出予定日 平成24年1月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年5月期第2四半期の連結業績(平成23年6月1日～平成23年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第2四半期	1,049	△22.2	△28	—	△22	—	△68	—
23年5月期第2四半期	1,350	△10.8	△67	—	△59	—	△61	—

(注) 包括利益 24年5月期第2四半期 △72百万円 (—%) 23年5月期第2四半期 △66百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年5月期第2四半期	△2,221.77	—
23年5月期第2四半期	△2,008.66	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年5月期第2四半期	2,553	1,499	58.7
23年5月期	2,664	1,571	59.0

(参考) 自己資本 24年5月期第2四半期 1,499百万円 23年5月期 1,571百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年5月期	—	0.00	—	—	—
24年5月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年5月期の連結業績予想(平成23年6月1日～平成24年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,600	3.8	100	—	100	—	50	—	1,622.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年5月期2Q	30,816 株	23年5月期	30,816 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

24年5月期2Q	— 株	23年5月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年5月期2Q	30,816 株	23年5月期2Q	30,816 株
----------	----------	----------	----------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意事項)

本資料に記載されている業績見通し等、将来に関する記述は、現在、当社が入手している情報及び合理的であると判断される一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、当初、東日本大震災の甚大なる被害等の影響が残っており、加えて、福島原発事故等を原因とした夏季の電力不足に係る問題もありましたが、国内生産活動の回復は急速に進み、消費者の自粛ムードも徐々に解消されてきました。しかしながら、国内の雇用状況及び所得環境は、依然として低調なままであり、加えて、ギリシャに始まる欧州各国の財政問題に端を発する急速な世界経済の減速があり、先行きの不透明感が更に増す状態となっております。

このような状況のもと、玩具業界は、前期に引き続き、一部の人気キャラクター関連商品の販売等が好調であったため、業界全体では、ほぼ前年同期並みに推移しているものの、依然として厳しい経営環境が続いております。

当社グループは、厳しい業界環境を考慮し、前連結会計年度に引き続き、当連結会計年度も固定費の削減及び基幹事業であるOEM製品販売に経営資源を集中し、通期の黒字化を達成するために事業を推進しております。あわせて、オリジナル商品販売及び海外販売の基盤の確立を目指しております。

OEM製品販売におきましては、「Tamagotchi iD L (たまごっちアイディーエル)」シリーズ製品及び「スイートプリキュア♪」シリーズ関連製品「不思議なタッチ鍵盤♪ ヒーリングチェスト」等の販売が好調に推移しましたが、当該製品シリーズを含めたOEM製品販売全体の出荷数が、想定より減少したため、期初に予想していた売上高を下回っております。

また、オリジナル商品販売は、引き続き堅調な販売を継続しております「東京スカイツリー (R) バンク634」等に加え、スマートフォン等の最新デバイスに連動した新シリーズ「applism (アプリズム)」の発売を平成23年9月より本格的に開始し、順次シリーズ商品を発売しました。しかしながら、同シリーズの初動売上が予想を下回り、その他の商品についても低調であったため、オリジナル商品販売につきましても、予想売上高を下回っております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、10億49百万円（前年同期比22.2%減）となりました。なお、当該売上高は、全ておもちゃ事業におけるものであります。

利益面においては、売上高は減少しておりますが、生産面でのコストダウン及び固定費の削減等に努めたことにより、営業損失28百万円（前年同期は67百万円の営業損失）、経常損失22百万円（前年同期は59百万円の経常損失）となりました。また、四半期純損失は、別途開示をしております本社移転に係る費用として特別損失44百万円を当第2四半期連結会計期間に計上したことに伴い、68百万円（前年同期は61百万円の四半期純損失）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### <資産、負債及び純資産の状況>

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ1億11百万円減少し、25億53百万円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金の増加48百万円、商品及び製品の増加42百万円があった反面、現金及び預金が1億48百万円、原材料及び貯蔵品が27百万円減少したことによるものであります。

負債の部につきましては、前連結会計年度末と比べ39百万円減少し、10億54百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金の増加32百万円があった反面、長期借入金が99百万円減少したことによるものであります。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末と比べ72百万円減少し、14億99百万円となりました。これは、主に当第2四半期連結累計期間の四半期純損失計上による利益剰余金の減少68百万円によるものであります。

#### <キャッシュ・フローの状況>

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末と比べ1億48百万円減少し、10億71百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は42百万円（前年同期は1億43百万円の使用）となりました。これは事務所移転費用の見積計上額37百万円、仕入債務の増加額が31百万円となる等、資金の増加要因はありましたが、税金等調整前四半期純損失68百万円、売上債権の増加額が50百万円であったことなどによるものです。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1百万円（前年同期は62百万円の獲得）となりました。これは有形固定資産の取得による支出が2百万円あったことなどによるものです。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1億円（前年同期は1億30百万円の獲得）となりました。これは長期借入金の返済による支出が99百万円であったことなどによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成23年12月27日に発表いたしました数値から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、前連結会計年度において当期純損失を計上し、当第2四半期連結累計期間においても営業損失28百万円、経常損失22百万円、四半期純損失68百万円を計上しております。また、営業活動によるキャッシュ・フローも、前連結会計年度までの4期間に引き続き、当第2四半期連結累計期間におきましてもマイナスとなっている状況であります。これらの状況により、継続企業の前提に関する重要事象等が存在しており、当社グループは当該状況を解消すべく、次のような取り組みを実施しております。

① 売上高の拡大

当連結会計年度は大手玩具メーカーを中心としたOEM製品販売について、更に経営資源を集中し、売上高の拡大を図ってまいります。具体的には、当社の主力安定商材である製品シリーズについては、それぞれ専門のチームを構成する等、組織体の再構築を始めとした諸施策をおこなっております。

② 固定費の削減

前連結会計年度以前に終了した希望退職者の募集等を含むリストラクチャリングの結果、固定費の大幅な削減が実現しております。当連結会計年度におきましても、引き続き削減を実施し、更にスリム化した固定費で事業を継続することが可能となっております。

なお、前連結会計年度の業績を受け、平成23年6月より役員報酬の減額を実施しております。

③ 資金繰りへの対応

当連結会計年度の営業活動によるキャッシュ・フローにつきましても、前記①②の諸施策により改善が見込まれ、十分なキャッシュを確保できる見込みであります。

以上により、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高の減少はあったものの利益面においては概ね予定どおりに推移しており、当社グループは、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,271,468	1,122,852
受取手形及び売掛金	551,354	600,304
商品及び製品	29,726	72,684
仕掛品	21,111	25,200
原材料及び貯蔵品	56,886	29,534
その他	32,076	25,115
流動資産合計	1,962,623	1,875,691
固定資産		
有形固定資産	19,964	11,966
無形固定資産	3,532	3,344
投資その他の資産		
投資有価証券	517,153	517,740
その他	161,616	144,789
投資その他の資産合計	678,769	662,529
固定資産合計	702,266	677,840
資産合計	2,664,890	2,553,531
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	76,357	108,766
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	215,860	240,060
その他	70,942	93,761
流動負債合計	463,160	542,587
固定負債		
長期未払金	265,526	265,526
長期借入金	306,500	182,370
退職給付引当金	55,408	61,549
その他	3,081	2,490
固定負債合計	630,517	511,936
負債合計	1,093,677	1,054,524
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	555,235	555,235
資本剰余金	587,435	587,435
利益剰余金	439,691	371,225
株主資本合計	1,582,361	1,513,895
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△64	△246
為替換算調整勘定	△11,084	△14,642
その他の包括利益累計額合計	△11,148	△14,888
純資産合計	1,571,213	1,499,007
負債純資産合計	2,664,890	2,553,531

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
売上高	1,350,108	1,049,884
売上原価	927,772	625,690
売上総利益	422,336	424,193
販売費及び一般管理費	489,364	453,168
営業損失(△)	△67,028	△28,974
営業外収益		
受取利息	193	169
受取配当金	2,202	407
為替差益	8,467	8,559
持分法による投資利益	—	769
その他	262	1,309
営業外収益合計	11,125	11,215
営業外費用		
支払利息	2,939	4,817
持分法による投資損失	1,003	—
営業外費用合計	3,943	4,817
経常損失(△)	△59,846	△22,577
特別損失		
固定資産除却損	22	—
投資有価証券売却損	594	—
事務所移転費用	—	38,939
減損損失	—	7,096
特別損失合計	616	46,036
税金等調整前四半期純損失(△)	△60,462	△68,614
法人税等	1,436	△148
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△61,899	△68,465
四半期純損失(△)	△61,899	△68,465

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△61,899	△68,465
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△83	△182
為替換算調整勘定	△4,272	△3,557
その他の包括利益合計	△4,356	△3,740
四半期包括利益	△66,255	△72,205
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△66,255	△72,205

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△60,462	△68,614
減価償却費	4,758	3,682
事務所移転費用	—	37,439
減損損失	—	7,096
組合等受入損益(△は益)・純額	△1,249	286
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,202	6,141
受取利息及び受取配当金	△2,396	△577
支払利息	2,939	4,817
為替差損益(△は益)	—	13
持分法による投資損益(△は益)	1,003	△769
固定資産除売却損益(△は益)	22	—
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	594	—
売上債権の増減額(△は増加)	△79,075	△50,339
たな卸資産の増減額(△は増加)	△16,212	△19,695
仕入債務の増減額(△は減少)	17,058	31,325
その他	△13,731	12,926
小計	△144,546	△36,264
利息及び配当金の受取額	2,396	577
利息の支払額	△3,611	△4,803
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	2,224	△2,326
営業活動によるキャッシュ・フロー	△143,537	△42,818
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	—	△2,095
出資金の分配による収入	15	—
投資有価証券の売却による収入	64,314	—
その他	△1,598	256
投資活動によるキャッシュ・フロー	62,731	△1,839
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△25,000	—
長期借入れによる収入	200,000	—
長期借入金の返済による支出	△44,410	△99,930
その他	△271	△401
財務活動によるキャッシュ・フロー	130,318	△100,331
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,307	△3,618
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	45,204	△148,607
現金及び現金同等物の期首残高	909,102	1,220,540
現金及び現金同等物の四半期末残高	954,306	1,071,932

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間（自平成22年6月1日至平成22年11月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成23年6月1日至平成23年11月30日）

当社グループは、報告セグメントが1つであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。